

建築物における木材の利用促進 — 進捗状況とこれから —

参加費無料

2010年に建築物への木材の利用促進が施策に掲げられ、13年が経過しようとしています。その間、林業・林産の業界では、道産木材を建築物で利用するための資源の調査や加工技術の開発が積極的におこなわれてきました。また、建築側もそれに呼応し、住宅や公共建築物等において道産木材を利用する動きが活発になりつつあります。本フォーラムでは、この13年間の成果・実績を振り返りながら、今後の課題と展開をみなさんと考えてみたいと思います。本フォーラムが、これからの北海道の木材資源との付き合い方を考える機会になることを期待しています。

日時

令和5年3月7日（火）

13:30 ~ 15:30

（開場 13:00）

定員：会場先着 90名
+Zoom先着 90名

場所

ホテル札幌ガーデンパレス 2階 丹頂

（札幌市北区北1条西6丁目）

プログラム

進行・ファシリテーター：北海学園大学工学部 建築学科 教授 植松武是

■開会挨拶

（一社）北海道建築技術協会 会長 平井卓郎

— 主旨説明にかえて —

北海学園大学工学部 建築学科教授 植松武是

■講演 1

木造・木質化のための道産木材の加工技術 — 利用促進が謳われてから —

北海道立総合研究機構森林研究本部 林産試験場 研究主幹 大橋義徳氏

■木の柱・梁・面材・板材が織りなす空間づくり～製材・集成材から CLT まで～

— その1 地域ビルダーのとりくみ —

芦野組 代表 芦野和範氏

— その2 アトリエ設計事務所のとりくみ —

遠藤建築アトリエ 代表 遠藤謙一良氏

— その3 ゼネコンのとりくみ —

竹中工務店北海道支店 専門役 藤田純也氏

休憩

■[PD] 建築側が「これから」を考える — 林業・林産への恩返し —

PDに先立って — もうひとつの話題提供 —

講演 北海道の森林資源は枯渇しないのか？ — 北海道の森林管理・森林保護 —

北海道立総合研究機構森林研究本部 林業試験場 主査 津田 高明氏

■閉会挨拶

（一社）北海道建築技術協会 副会長 福島 明

■申込み：2023年3月3日（金）まで

インターネット申込フォームから → <https://form.os7.biz/f/d8a94aa3/>

電話から → （一社）北海道建築技術協会宛 011-251-2794

■オンライン参加の方には、視聴用URLをメールで3月6日までに送ります。

■主催：北海道建築技術協会

申込 QR コード

■後援：（一財）北海道建築指導センター、（公社）日本建築家協会北海道支部、（一社）北海道建築士会
（一社）北海道建築士事務所協会、（一社）北海道ビルダーズ協会、（一社）日本建築学会北海道支部、
北海道木材産業協同組合連合会

*会場参加される方へ【感染症予防対策のお願い】

- ・手指のアルコール消毒、検温、マスク着用にご協力ください。
- ・フォーラム当日、体調のすぐれない方や37.5度以上の発熱がある方は参加をご遠慮ください。